

総務省の梅村企画官が南砺市のICT利活用事業（そくさいネット）を視察



サポートセンター視察の様子



ふれiTV端末

総務省地域通信振興課の梅村研企画官と北陸総合通信局は、平成24年6月29日、富山県南砺市を訪問し、「そくさいネット ふれiTV」を視察しました。

この事業は、平成21年度総務省「ユビキタスタウン構想推進事業」の採択を受け、特に高齢者の安心・安全の確保のために、簡単な操作で利用可能なビデオ電話システム「ふれiTV」を構築し、限界集落等に居住される高齢者世帯に対する見守りや生活支援のための地域ぐるみによる支援環境を整備したものです。

「ふれiTV」の主な機能としては、行政や集落などからのお知らせが届くほか、自然災害等の緊急時には緊急情報がアラーム音とともに表示されます。

また、ビデオ電話機能としてスカイプを使っているため、「ふれiTV」端末同士にとどまらず、パソコンやiPhoneなどのスマートフォンともビデオ電話が可能となっています。

当日は、南砺市企画情報課の担当者から、事業の概要、端末の機能、利用状況などについて説明を受けた後、実際の端末の操作を行いました。端末の操作性に関して、様々な工夫がなされており、高齢者にとっても非常に使い易いものとなっていました。

また、同システムの運用に関し、利用者に対するサポートを実施しているサポートセンター【となみ衛星通信テレビ(株)内】も併せて視察しました。

「ふれiTV」は、7月から、地元のネットスーパーと連携し、「買い物支援」を機能として追加する予定としており、今後の展開が期待されます。